

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年11月21日(水)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月21日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備清水温度調節弁において、部品の組込み違いが認められたため、原因調査・対策検討。	対象外	
2	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)排水配管継手部及び渦流フィルター排水配管継手部において、ライニング(被覆)の剥離が認められたため、当該箇所を点検・修理。	GⅢ	
3	その他	個人線量計(警報付ポケット線量計2台)において、校正基準値を逸脱していることが認められたため、マニュアルに基づき、当該線量計を至近の点検校正以降に使用した者の被ばく線量値について再評価。	GⅢ	